

昭和42年11月14日、第四種郵便物認可  
昭和49年3月20日発行(毎月1回20日発行)  
物性研究 第21巻 第6号

vol. 21 no. 6

# 物性研究

1974 / 3

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、また掲載はを拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で private communication 扱いにして下さい。

### 投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するために原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式、記号の書き方はProgress, Journalの投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。英字の大、花文字、ギリシャの指定を忘れないように、oとaと0(ゼロ)、uとnとr、cとe、l(エル)と1(イチ)、xと×(カケル)、uとv等が一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図の縮尺、拡大は致しません。1頁以内に入らない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. 別刷は原則として作りません。どうしても別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を50部単位で申し込んで下さい。別刷代は下記方式により、現金で納入していただきます。

(郵券による受付はいたしません。)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷1頁の代金 3円

b : 製本代(別刷1部につき) 30円

別刷代 = (ap + b) x + 送料

別刷代金は別刷を受けてから、1ヶ月以内に納めて下さい。それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがありますから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。



1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、また掲載はを拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で private communication 扱いにして下さい。

### 投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するために原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式、記号の書き方はProgress, Journalの投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。英字の大、花文字、ギリシャの指定を忘れないように、oとaと0(ゼロ)、uとnとr、cとe、l(エル)と1(イチ)、xと×(カケル)、uとv等が一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図の縮尺、拡大は致しません。1頁以内に入らない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. 別刷は原則として作りません。どうしても別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を50部単位で申し込んで下さい。別刷代は下記方式により、現金で納入していただきます。

(郵券による受付はいたしません。)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷1頁の代金 3円

b : 製本代(別刷1部につき) 30円

別刷代 = (ap + b) x + 送料

別刷代金は別刷を受けてから、1ヶ月以内に納めて下さい。それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがありますから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

プレプリント案内

[東大・久保研]

- (227) 11. A.F.Garito and A.J.Heeger  
The Design and Synthesis of Organic Metals
- (228) 11. S.K.Khanna, E.Ehrenfreund, A.F.Garito, and  
A.J.Heeger  
Microwave Properties of High Purity (TTF) (TCNQ)
- (229) 11. A.A.Bright, A.F.Garito and A.J.Heeger  
Optical Conductivity Studies in a One-Dimensional  
Organic Metal: (TTF) (TCNQ)
- (230) 11. Richard A.Ferrell and Douglas J.Scalapino  
STATISTICAL MECHANICS OF ONE DIMENSIONAL  
GINZBURG-LANDAU FIELDS:  
II. A TEST OF THE SCREENING APPROXIMATION  
( $n^{-1}$  EXPANSION)
- (231) 22. N.Rivier  
Spin Glasses
- (232) 23. Hideji Yamada  
THE LOW TEMPERATURE MAGNETIZATION OF  
FERROMAGNETIC METALS
- (1) 28. Moshe Kaveh and Nathan Wiser  
General Theory of the Electrical Resistivity of the  
Alkali Metals at Low Temperatures
- (2) 28. Moshe Kaveh and Nathan Wiser  
The Electrical Resistivity of Potassium at Low  
Temperatures

- (3) 30. Kazumi Maki  
Magnetic Properties of the B phase in Superfluid  $^3\text{He}$ .
- (4) 30. Y.Fujii, S.Hoshino, Y.Yamada and G.Shirane  
Neutron Scattering Study on Phase Transitions of  
 $\text{CsPbCl}_3$
- (5) 30. G.Shirane  
Phase Transitions and Neutron Scattering
- (6) 30. Y.Endoh, G.Shirane, R.J.Birgeneau, Peter M.  
Richards and S.L.Holt  
Dynamics of an  $S=1/2$ , one Dimensional Heisenberg  
Antiferromagnet
- (7) 6. Kazumi Maki  
THE FOURTH SOUND IN ANISOTROPIC SUPERFLUID  
 $^3\text{He}$
- (8) 6. Toshio TSUZUKI  
Correlations in Bose Fluids  
I. The Elementary Excitation and Its Effective  
Hamiltonian
- (9) 6. Hideo Hasegawa and Toru Moriya  
Effect of Spin Fluctuations on Itinerant Electron  
Antiferromagnetism
- (10) 6. Edited by P.Schofield  
Theoretical Physics Division Progress Report  
January to June 1973
- (11) 6. J.P.Goedbloed and P.H.Sakanaka  
A New Approach to Magnetohydrodynamic Stability I.  
A Practical Stability Concept

プレプリント案内・ニュース

- (12) Young-Ping Pao  
Instabilities and Growth Rate of Guiding Center  
Diffuse Pinches
- (13) 6. P.H.Sakanaka and J.P. Goedbloed  
A New Approach to Magnetohydrodynamic Stability II.  
 $\sigma$ -Stable Diffuse Pinch Configurations

---

ニ ュ ー ス

---

〔名古屋大学〕

° 物性談話会

2月6日

“大型計算機による古典液体・液体金属の熱運動のシミュレーション；拡散，集団運動，3体相関”

東北大 田 中 実 氏

2月7日

“Bethe 格子とランダム・イジング模型”

東北大 桂 重 俊 氏

2月8日

“Relation Between Elastic Constants and Invar Effects in Fe-Ni and Fe-Pt Alloys”

マックス・プランク研究所 G.Hausch 氏

プレプリント案内・ニュース

- (12) Young-Ping Pao  
Instabilities and Growth Rate of Guiding Center  
Diffuse Pinches
- (13) 6. P.H.Sakanaka and J.P. Goedbloed  
A New Approach to Magnetohydrodynamic Stability II.  
 $\sigma$ -Stable Diffuse Pinch Configurations

---

ニ ュ ー ス

---

〔名古屋大学〕

° 物性談話会

2月6日

“大型計算機による古典液体・液体金属の熱運動のシミュレーション；拡散，集団運動，3体相関”

東北大 田 中 実 氏

2月7日

“Bethe 格子とランダム・イジング模型”

東北大 桂 重 俊 氏

2月8日

“Relation Between Elastic Constants and Invar Effects in Fe-Ni and Fe-Pt Alloys”

マックス・プランク研究所 G.Hausch 氏

昭和49年4月15日

昭和49年度後期研究計画・アトム型研究員募集

京都大学基礎物理学研究所

所長 牧 二郎

昭和49年度後期の基研研究計画及びアトム型研究員を下記のように募集致します。  
長期・短期・モレキュール型研究計画の外に、従来の枠にとられない新しい研究計画  
の応募も歓迎致します。

1. 募集内容 別紙参照

(必要な場合には基研共同利用事務室へお問い合わせ下さい。)

2. 切 1974年5月31日(金) (必着)

基礎物理学研究所研究部員会議及び運営委員会(6月末頃の予定)で  
決定します。

3. 宛 先 京都市左京区北白川追分町

京都大学基礎物理学研究所

共同利用事務室

075(751)2111(代)(内線)7008

応募の際は適当な用紙に黒のボールペン又は、黒インクで御記入の上、封筒  
の表に研究計画又はアトム型研究員応募と明記してお送り下さい。

A 研究計画

長期研究計画(あるテーマについて数ヶ月から1年にわたって連絡をとりつつ研  
究を行なうもので、普通年1~2回研究会を行なっている。)

短期研究計画(あるテーマについて数日間研究会を行なう。)

モレキュール型研究計画

(数人が随時連絡をとりつつ研究する。)



## 掲示板

### イ) 研究テーマとその内容

応募書類はあらかじめ研究部員に配っておき、研究部員会議で充分討議致しますので、主旨及び問題点を具体的に書いて下さい。

### ロ) 世話人及び提案説明書

世話人として主な研究計画立案者を二人以上あげ、その中の一人を連絡責任者として指定して下さい。6月末頃の基研研究部員会議で提案の説明をしていただきますので提案説明書を決めて下さい。基研研究部員が参加者にいる場合はなるべく研究部員が提案説明にあたって下さい。

### ハ) 研究会及びその他の会合の開催希望時期

#### ニ) 研究会及びその他の会合に参加する研究者の予定数

#### ホ) 旅費及び校費の必要額(項目別に明記して下さい。)

## B アトム型研究員

アトム型研究員は大学院生を含む研究者を対象とし、個人がある期間、当研究所に滞在して研究を続けていただくものです。

但し、特別の事情がある場合には当研究所以外を研究場所とする計画も認めております。これについての詳細は第54回研究部員会議議事録(1971年11月)22頁、“地方大学の研究条件の改善について”をごらん下さい。

なお、アトム型研究員は1月末、5月末、9月末に募集を締切っております。

### イ) 所属・身分及び連絡先

### ロ) 研究テーマとその内容

計画の内容、応募の目的をなるべく具体的に御記入下さい。他の研究計画と関連させて申し込まれる場合は、その旨明記して下さい。

### ハ) 滞在希望時期及び期間

滞在期間は原則として1ヶ月～1年としますが、場合によっては2週間程度でも結構です。応募者が一時期に集中し、基研の収容能力をこえる場合は、一部時期の変更をお願いすることもあります。(昭和48年度の利用者は滞在1ヶ月28人、3週間1人、2週間4人でした。)

## C 新しい型の研究計画

従来の研究計画の枠にとらわれない計画も歓迎しております。

## 基 研 研 究 部 員 会 議 議 題 募 集

来る6月末頃に基研の研究部員会議が行われる予定ですので、議題がございましたら提案趣旨とともに5月31日必着で下記にお申し込み下さい。

京都市左京区北白川追分町

京都大学基礎物理学研究所

研究部員会議 議長団

## ’73年度決算及び’74年度予算報告

’73年度の決算について報告致します。’73年度は収入総額157.3万円，支出総額153.4万円差引3.9万円の収入超過となり，’74年度への繰越金は51.7万円となりました。これを予算と比較致しますと，収入では2.2万円，支出では2.5万円それぞれ下回っています。

次に後続の資料〔I〕決算と予算のうち収入の部(A)，(B)欄について，個人会員による会員収入が予算を11.0万円上回っていますが，これは’72年度未入金が’73年度に入金されたことによります。機関会員による会費収入が予算に比較して10.1万円下回ったことについては校費による後払いが多く，’74年へ入金が持越されたことによります。海外会員についても，こちらからの請求が遅れたことにより’73年度には入金されず，’74年2月末日現在で，3.8万円入金されています。「その他」の項目の入金は全て，銀行預金利息によります。

次に支出の部，(a)(b)欄のうち印刷費について，当初予算では印刷費の値上げは行なわれないものと見込んで，19=1～20=6まで毎号90頁（基研々究会報告の部分を除いた部分）刊行するものと予測して91.1万円計上致しました。実際には，20=1から印刷費のうち製版代が1頁あたり，50円値上げされたこと，刊行実績頁数は，毎号平均88.3頁とほぼ予算通りであったため，97.1万円（決算資料〔II〕原価，’73年度直接出版費欄の数字）となりましたが，刊行が遅れたために18=6～20=5までの12回分が’73年度内に支払われており，支出の部(b)欄のように92.2万円となりました。従って，もし刊行の遅れがなく，’73年度において19=1～20=6の12回分を支払ったならば3.9万円の収入超過が一転して1.1万円の支出超過となります。’73年度の決算のその他の事項については，資料〔II〕原価，〔III〕講読者内訳，〔IV〕掲載内容，〔V〕収支決算の推移を御参照下さい。

次に’74年度予算について報告致します。’74年度は21=1～22=6まで12回，毎号90頁（基研々究会報告を除いた部分）刊行されるものとして，それに必要な印刷費等の経費を計上致しました。印刷費については，vol.20に比較して，製版代が1頁当たり150円，又用紙が1枚当たり（4頁）1円30銭値上りしており，’73年度

に比較して39.2万円程度の支出増となる見込みです。

又、'74年後半には郵便料金も値上がりする見込みですが、9月末までは値上がりしないものとして'73年度の実績を計上しました。その結果'74年度は収入総額190.6万円、支出総額192.4万円差引1.8万円の支出超過となる見込みです。この支出超過に対する対策として、活字を小さくすることを検討しております。これによって1頁当りの文字の数を多くし、頁数を減少させることによって、製版代の値上りをカバーし、用紙代、さらには送料も安くなることを考慮中です。

以 上

予算報告

〔I〕 決算及び予算

収入の部	(A) '73年度予算	(B) '73年度決算	(C) '74年度予算	(D) (C)の明細
個人会員	525,600	635,330	678,720	@ 3360 × 202
機関会員	883,560	782,720	1,068,000	@ (2220+3120) × 200
商社	128,760	149,560	138,840	@ (2220+3120) × 26
海外会員	48,960	0	15,420	@ 3360 × 3 @ (2220+3120) × 1
その他	8,000	5,671	5,000	
合計	1,594,880	1,573,281	1,905,980	
前年度繰越金	477,721	477,721	517,208	

支出の部	(a) '73年度予算	(b) '73年度決算	(c) '74年度予算	(d) (c)の明細
印刷費	911,000	921,782	1,313,700	90頁12回
発送通信費	240,000	200,397	200,000	'73年度実績より
編集費	192,000	354,550	344,000	編集費, 校正料, 原稿料, その他
人件費	156,000	36,000	36,000	@ 3000 × 12ヶ月
事務費	50,000	21,065	20,000	
その他	10,000	0	10,000	予備費
合計	1,559,000	1,533,794	1,923,700	
損益金	35,880	39,487	17,720	
次年度繰越金	513,601	517,208	99,488	



〔Ⅱ〕 原 価

	'67年度		'68年度		'69年度		'70年度		'71年度		'72年度		'73年度	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
直接出版費	503,682	47.4	580,802	56.0	787,935	65.7	743,068	60.8	918,809	63.9	751,029	55.6	971,373	61.3
間接出版費	558,695	52.6	455,325	44.0	410,340	34.3	480,029	39.2	518,930	36.1	598,920	44.4	612,012	38.7
年間発行部数	5,251部		5,400部		5,490部		5,260部		5,425部		5,600部		5,576部	
月平均発行部数	438部		450部		457部		438部		452部		466部		464部	
1冊の原価	202.32円		191.87円		218.26円		232.53円		275.77円		244.63円		283.96円	

〔Ⅲ〕 購読者内訳

	'67年度	'68年度	'69年度	'70年度	'71年度	'72年度	'73年度
個人会員	238(人)	228(人)	224(人)	198(人)	220(人)	219(人)	202(人)
機関会員	200	182	189	221	205	199	200
海外会員	5	5	5	4	5	4	4
寄贈交換	7	9	10	5	5	5	10
商社	0	16	4	4	29	29	26
在庫	10	11	18	3	6	4	18
合計	460	450	450	435	470	460	460

〔IV〕 掲載内容

内 容	年度		'67年度		'68年度		'69年度		'70年度		'71年度		'72年度		'73年度	
	Volume		vol. 7~8		vol. 9~10		vol. 11~12		vol. 13~14		vol. 15~16		vol. 17~18		vol. 19~20	
	頁数	%	頁数	%	頁数	%	頁数	%	頁数	%	頁数	%	頁数	%	頁数	%
論文	344	25.7	476	51.1	494	44.8	504	45.1	637	43.7	382	32.6	347	28.1		
講義ノート	145	10.8	76	8.2	30	2.7	35	3.1	61	4.2			67	5.4		
基礎研究会報告	639	47.7	101	10.8	228	20.7	236	21.1	174	11.9	324	27.7	177	14.3		
資料	89	6.6			123	11.2	103	9.2	105	7.2	200	17.1	120	9.7		
海外通信	21	1.5	5	0.5					4	0.3	2	0.1			36	2.9
ニュース, etc	95	7.2	63	6.7	65	5.7	73	7.0	25	1.7	13	1.2	33	2.6		
プレプリント案内			45	4.8	42	3.8	27	2.4	58	4.0	46	3.9	78	6.3		
掲示板	7	0.5	37	4.0	48	4.4			18	1.2	26	2.3	38	3.0		
編集後記									18	1.2	30	2.6	25	2.0		
大学特集					36	3.3			48	3.3						
若手夏の学校									9	0.6	10	0.8	7	0.6		
拡大編集会議									9	0.6						
境界領域特集									137	9.4	103	8.8	136	11.0		
物性研究会報告									157	10.8						
解説			90	9.6												
我国の物性物理の研究体制について					37	3.4	79	7.0								
懸賞論文入選発表							7	0.6								
特集「情報化時代における物理学」											25	2.2				
シンポジウム											10	0.8				
特集「浅野太郎氏」														14	1.1	
「物性研究10周年記念特集」														26	2.2	
総目次															133	10.8
合計	1340	100.0	933	100.0	1103	100.0	1115	100.0	1458	100.0	1169	100.0	1237	100.0		
月平均頁数	111.6		77.7		91.9		92.9		121.5		97.4		103.1			

(注) '69年度以前の「ひろば」欄の頁数は「掲示板」欄に加えてあります。

## 〔V〕 収支決算の推移

収入の部	(a) '67年度	(b) '68年度	(c) '69年度	(d) '70年度	(e) '71年度	(f) '72年度	(g) '73年度
個人会員	483,990	436,235	424,195	393,340	339,447	248,656	635,330
機関会員	620,275	825,900	535,000	761,440	549,140	753,870	782,720
商社	85,940	224,280	116,840	90,900	91,680	37,080	149,560
海外会員	23,643	20,273	0	0	0	0	0
預金利息	18,135	10,986	36,837	41,150	38,242	8,525	5,671
その他	0	0	0	1,160	0	0	0
合計	1,231,983	1,517,674	1,112,872	1,287,990	1,018,509	1,048,131	1,573,281

支出の部	(a) '67年度	(b) '68年度	(c) '69年度	(d) '70年度	(e) '71年度	(f) '72年度	(g) '73年度
印刷費	503,682	580,802	787,935	743,068	918,809	653,719	921,782
発送通信費	224,175	161,125	121,565	116,834	165,180	178,680	200,397
編集費	155,200	203,400	189,500	227,360	211,090	168,000	354,550
人件費	81,500	82,150	82,175	82,150	83,660	134,000	36,000
事務費	97,820	その他 480 8,170	その他 300 16,800	その他 6,160 47,525	59,000	その他 24,010 94,230	21,065
合計	1,062,377	1,036,127	1,198,275	1,223,097	1,437,739	1,252,639	1,533,794
損益金	169,606	481,547	-85,403	64,899	-419,230	-204,508	39,487
次年度繰越金	640,416	1,121,963	1,036,560	1,101,459	682,229	477,721	517,208

## 編 集 後 記

本誌の編集委員より、実験屋が編集委員の中にいないから、一度編集委員会に出てみないか、とのおさそいを受けた。今まで物性研究を読んだこともないにもかかわらず、のこのこと出ていったのはほかでもなく、編集委員が「今後、理論屋と実験屋の間の Frank な交流の場としての役割を雑誌の中に取り入れてゆく方針である。」との意欲的な(?)言葉に心引かれたからである。

本来的について理論と実験を区別しうるかというのは疑問ではあるが、一般的な意味での実験と理論との分業は近年とみに進み、物理の分野の拡大とその情報過多ともあいまって、学会や雑誌や色々な雑談の時にもふと両者の興味の対象や発想法に相異なるものを感じる場合もある。理論と実験が常々手を取りあつての並列行進というのも問題であるが、互いに興味ある結果を出し合つての活発な意見の交換と意識の高揚の場があつてよいように思われる。本誌は、あまり固くならず色々なことを申し立ててよいのだそうですが(日も浅く、誤解かもしれませんが)、うまく両者がかみ合った形での交流の機会を期待し、又、努力してゆきたいと考えております。

(T. M)

### 物 性 研 究

第 21 卷 第 6 号

1974年3月20日発行

発行人	松 田 博 嗣 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭和堂印刷所 京都市上京区上長者町室町西入 TEL (441) 1659 (431) 4789
発行所	物性研究刊行会 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

## 編 集 後 記

本誌の編集委員より、実験屋が編集委員の中にいないから、一度編集委員会に出てみないか、とのおさそいを受けた。今まで物性研究を読んだこともないにもかかわらず、のこのこと出ていったのはほかでもなく、編集委員が「今後、理論屋と実験屋の間の Frank な交流の場としての役割を雑誌の中に取り入れてゆく方針である。」との意欲的な(?)言葉に心引かれたからである。

本来的について理論と実験を区別しうるかというのは疑問ではあるが、一般的な意味での実験と理論との分業は近年とみに進み、物理の分野の拡大とその情報過多ともあいまって、学会や雑誌や色々な雑談の時にもふと両者の興味の対象や発想法に相異なるものを感じる場合もある。理論と実験が常々手を取りあつての並列行進というのも問題であるが、互いに興味ある結果を出し合つての活発な意見の交換と意識の高揚の場があつてよいように思われる。本誌は、あまり固くならず色々なことを申し立ててよいのだそうですが(日も浅く、誤解かもしれませんが)、うまく両者がかみ合った形での交流の機会を期待し、又、努力してゆきたいと考えております。

(T. M)

### 物 性 研 究

第 21 卷 第 6 号

1974年3月20日発行

発行人	松 田 博 嗣 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭和堂印刷所 京都市上京区上長者町室町西入 TEL (441) 1659 (431) 4789
発行所	物性研究刊行会 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内



## 講読規定

### 個人講読

1. 会費：当会の会費は前納制をとっています。したがって、3月末までになるだけ1年間分会費を御支払い下さい。  
なお新規講読の場合は下記の会費以外に入会金として、1000円お支払い下さい。

#### 1年間の会費

1st volume 1,680円

2nd volume 1,680円

計 3,360円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です。)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。  
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。  
3. 雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず購読者本人の名前を明記して下さい。  
4. 誌代の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく、42 Vols. 以上の誌代を滞納されれば場合には、送本を停止することになっていきますので御留意下さい。  
5. 一括送本を受ける場合：個人購読中に大学等で一括配布を受ける様になった場合は、必ず「個人購読中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。  
6. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

### 学校、研究所等機関購読

1. 会費：学校・研究所等での購読及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1 Vol. 3,120円、1冊520円です。この場合、入会金は不要です。学校・研究所の会費の支払いは後払でも結構です。しかし購読申込みをされる時に支払いに必要な請求見積、納品書各何通必要なのかをお知らせ下さい。

なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校、貴研究機関の請求書類を送付して下さい。

2. 送本中止の場合の連絡：発行途上ある volume の購読途中中止は認められません。購読中止される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「購読中止届」を送付して下さい。

物 性 研 究 21—6 (3月号) 目 次

- 液体He<sup>4</sup>表面に吸着したHe<sup>3</sup>原子の衝突時間の計算 .....大見哲巨.....291
- 電子ガスにおける短距離相関について.....安原 洋.....311
- プレプリント案内.....326
- ニュース.....328
- '73年度決算及び'74年度予算報告.....332
- 編集後記.....338
- 基研研究会「非線型・非平衡状態の統計力学」報告..... I 1



物 性 研 究 21—6 (3月号) 目 次

- 液体He<sup>4</sup>表面に吸着したHe<sup>3</sup>原子の衝突時間の計算 .....大見哲巨.....291
- 電子ガスにおける短距離相関について.....安原 洋.....311
- プレプリント案内.....326
- ニュース.....328
- '73年度決算及び'74年度予算報告.....332
- 編集後記.....338
- 基研研究会「非線型・非平衡状態の統計力学」報告..... I 1